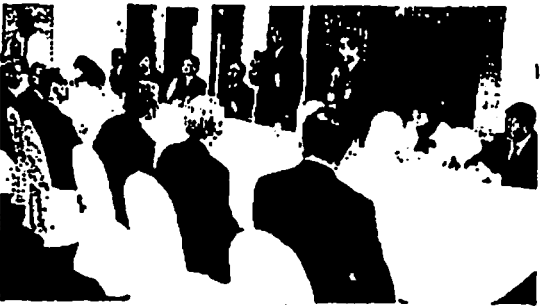


さらなる交流促進を

中国・濟寧市長ら 小松を訪問

小松市の姉妹都市である中国・濟寧市の張振川市長ら一行が3日、小松市を訪れ、さらなる交流促進に取り組むことを確認した。



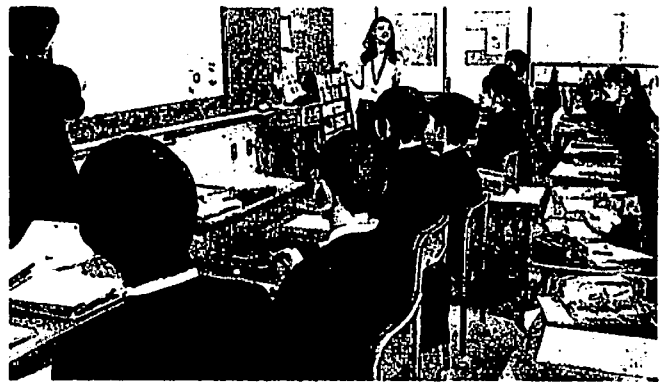
一行はホテルサンルート小松で和田慎司市長、川崎順次市議会議長らと懇談した。写真Ⅱ。和田市長は「ますますつながりが深くなつた」、張市長は「まさに兄弟のような交流継続を願っている」とあいさつした。引き続き開かれた歓迎夕食会では龍助町の住民が獅子舞を披露した。これに先立ち、コマツの協力企業である大京(小松市)が濟寧市で来年建設する新工場の契約調印式が行われた。

金沢市立小中学校の英語授業に今年度、県外教委などからの視察が相次いでいる。市教委によると、今年度は1県11市2町の計81人から視察の申し込みがあり、昨年度(4市34人)の倍以上となった。2011(平成23)年度に全国の小学校で「外国語活動」が必修化されるのを前に、教育関係者の間では、早くから小中一貫英語教育を導入してきた市への関心があらためて高まっている。

今年度、金沢市には宮崎県、船橋市、高山市などが英語授業の視察に訪れた。金沢市は04年度に「世界都市金沢」小中一貫英語教育特区(昨年度から教育課程特例校)に認定され、外国語活動の参考となるためだ。金沢市では小3から学級担任に英語指導講師を加えた2人体制で

金沢市立小中学校

英語教育に視察続々



視察が相次ぐ金沢市の英語授業
—先月27日、金沢市田上小

外国語活動必修化で

105時間を超える1年間授業時間を設定。校長は「子どもが本当に楽しんで、こん

英語授業を開始し、脚本を活用し、英語で金な授業方法もあるのかく、話す、読む、書く、訳を語れるよう歴史文と感心した。金沢を段階的に学ばせてい化も学んでいる。他自治体ではせい市教委は、中小一貫ことから始めたい」とせい「読む」止まりの英語教育の導入から8話した。市教委は「見アルファベットを」替年目となり、成果は数童生徒の英語力や学く」まで指導するのが字に現れ始めてきてい習意欲は確実に高まっている(学校指導課)特徴で、中1の教科書員を対象に実施した英と強調し、今後も独自の小6で半分程度終え語能力判定テストでの英語教育を継続することを基本とする。語能力判定テストでの英語教育を継続する中学では国の標準時数は、英検3級以上レベルの方針だ。

昨年度の2倍超、学力向上に成果

先月27日には同市田上小に東京・調布市教委が訪れ、6年生の英語授業を視察。同市滝坂小の富田康司校長は「子どもが本当に楽しんで、こん

ルの生徒の割合は04年度22・5%だったのに対し、08年度は40・8%に増加した。英検取得状況と合わせると、57・6%(04年度は41・0%)が英検3級以上相当の英語力を持つという。

台湾・烏山頭訪問に支援

県、小松—台北便の冬場対策

県は小松—台北便の冬場対策で台湾ツアーへの支援を実施する。金沢出身の八田一技師が建設した烏山頭ダムを日程に入れた商品に対し経費の一部を負担する。2年目の冬を迎えた定期便の利用確保に加え、ふるさとが生んだ偉人の功績をたどる取り組みを後押しし、北陸と台湾との交流拡大に努める。旅行会社に商品づくりを働き掛けている。

ツアー—経費を助成

八田技師の旅行会社に企画要請 功績たどる

小松—台北便は昨年6月に週2便で就航。今年度上半期(4—9月)の搭乗率が73・6%と小松空港の全路線で最も高く、好調を維持している。ただ初年度の冬は搭乗率が50%台に低迷した月もあった。

関係者は利用の確保に冬場対策が必要との認識で一致。昨年のデータでは、秋の旅行シーズンが終ると、台湾からの観光客が一気に減少する傾向がみられ、県などをつくる小松空港協議会は日本からのアウトバウンド対策を強化し、訪台ツアーの経費負担を実施することにした。

は、今冬に新たに今年度予算の範囲内で「乗り切りたい」としてつた旅行商品。今年度内には小松—台北便で往復し、台南にある八田技師ゆかりの烏山頭ダムを日程に入れることが条件となる。台湾便を運航するエアー航空とタイアップする旅行会社に対し、

北国(朝・夕) 国際交流課 21.12.-4

21.12.-4 北中(朝・夕) 国際交流課

築六園や加能カニがデザインされた車体広告のイメージ



JR車両に車体広告

北陸三県広域連携観光推進協議会は21日から、東京のJR中央線の10両編成車両に、北陸の観光資源の魅力をアピールする車体広告を掲載する。三大都市圏からの鉄道網パネルをはじめ、石川は兼六園の夜景と加能カニ、甘エヒ、長町武家屋敷跡の写真を紹介する。車体広告は東日本、西日本、東海のJR3社共同の観光キャンペーン「Japanese Beauty」の一環でもある。掲載期間は来年1月17日まで4週間となる。

「武士の家計簿」 金沢で撮影開始

加賀藩舞台映画

二〇一〇年に公開予定の加賀藩を舞台にした映画「武士の家計簿」の撮影が三日、金沢城公園で始まり、主演の堺雅人さんや地元エキストラが熱演した。

撮影は、堺さん演じる主人公猪山直之らが金沢城に出仕するシーンで、現場は緊迫した雰囲気包まれた。

「武士の家計簿」は、歴史学者磯田道史さんのベストセラーで、加賀藩の会計専門



の下級武士・算盤待と「宮兄弟」などを手掛けた森田芳光監督がメガホンを取り、仲間由紀

映画「武士の家計簿」のロケが始まり、撮影に臨む主演の堺雅人さん(左)金沢市丸の内

恵さんがヒロインを演じる。

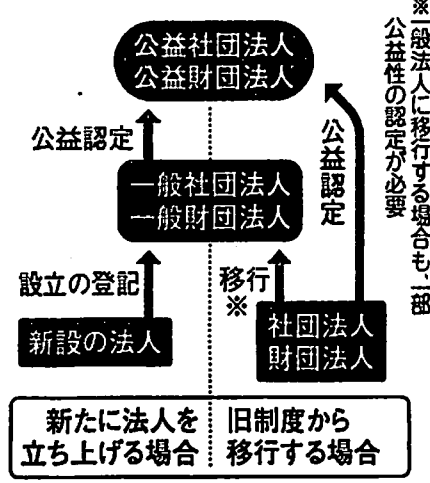
森田監督は「家族愛あふれる物語。見る人にエネルギーを与えられれば」と話していた。(山野舞子)

公益法人 進まない新制度移行

申請まだ2件

「公益法人や財団法人の在り方を真直す」「公益法人制度改革」から丸一年、各法人に求められている新法人への移行手続きが一向に進んでいない。石川県内の三百二十五法人のうち、移行を申請したのはわずか二法人。手続きが煩雑で分かった。インのコンクールを手掛りにくく、多くの法人が「ヤギメセナファンデー」の足を踏んでいる。(佐藤航)

新公益法人制度の枠組み



「出さなければならぬ書類が多く、手続きはを振り返る。参考となる事例がないため、県のアドバイスを受けながら手探りで手続きを進めた。春先から作業を始め、実際に申請できたのは九月半ば。組織や定款なども一から見直す必要があった」とい

「行政の手助けがなければ手続きは難しかった」と指摘する。

◇
新しい公益法人制度では、従来の社団・財団法人をそれぞれ「一般」と「公益」に細分化。一般のうち、移行を申請して

法人は目的や社員数など一定の要件を満たせばいいが、これまでと違い株式会社並みの法人税が課せられる恐れがある。従来通り税制優遇を受けられる公益法人となる

には、国や都道府県の諮問機関の審議を経て、公益性の認定を受ける必要がある。いずれにしても五年以内に移行しなかった場合は、法人を解散しなければならぬ。

◇
にもかかわらず、制度開始から丸一年たった今

申請を受ける県総務課は「受け付けや認定を円滑に進めるためにも、なる指すと思うが、新制度なので認定されるか見えにくい。今は他の出方をうかがっているようだ」とみる。

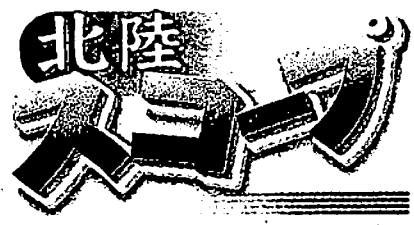
煩雑な手続き 半年がかり

公益認定を受けるには▽公益目的事業比率が50%以上▽公益事業では原則、収入が支出を超えない▽高いハードルをクリアしなければならぬ。さらに公益性の基準があいまいな面もあり、多くの財団が、様子見

いるのは百法人以下。県を続けているようだが、内でも申請を終えた法人は、全体の0.6%にとどまっている。

◇
申請を受ける県総務課は「受け付けや認定を円滑に進めるためにも、なる指すと思うが、新制度なので認定されるか見えにくい。今は他の出方をうかがっているようだ」とみる。

公益法人制度改革 天下した。法人の設立を所管官庁りなどの受け皿と指の許可制から登記のみに変更された社団法人。一般法人の立ち上げは簡人・財団法人と所管略化した一方、税制優遇を受官庁の癒着を断つなどの狙いけられる公益法人になるにで、法整備を経て2008年は、民間有識者による合議制12月1日に新制度がスタート 機関の認定が必要になった。



「ISSで暴れたい」

21日ソユーズで野口さん意気込む

野口さんは、カザフスタンバイコノール宇宙基地から出発。ソユーズでは船長補佐を務め、日本人で初めて宇宙船の本格操縦を担う。ISSには日本人最長の五カ月間余、滞在する予定で、家族の写真と来年の干支であるトラの人形を持って行くという。



3日、モスクワ郊外で、ソユーズに同乗するロシアのコトフ船長(左)、米国のクリーマー飛行士(中)と手を握る野口聡一さん(右)＝中島健二撮影

【モスクワ＝中島健二】国際宇宙ステーション(ISS)長期滞在に向け、今月二十一日にロシアの宇宙船ソユーズで出発する日本人宇宙飛行士の野口聡一さん(48)が三日、モスクワ郊外のカガリン宇宙飛行士訓練センターで搭乗のための最終試験を終えて記者会見。

野口さんは「ISSで暴れたい」と滞在中の活躍への意気込みを語った。同乗する米ロシアの宇宙飛行士と会見に臨んだ野口さんは、日本人で初めてソユーズを使ってISSに渡航することについて「一人の宇宙ファンとして幸せを感じている」と強調。ソユーズには「安定した宇宙船であり安全性を確信している」と信頼を寄せた。料理が得意な野口さんはISSで、にぎりに乗組員に振る舞うことになっているが、「滞在には季節感を入りたい。節分に豆をまき、ひな祭りには、ちだ」と語った。

「ISSには日本人最長の五カ月間余、滞在する予定で、家族の写真と来年の干支であるトラの人形を持って行くという。」

地方間路線 浮上の鍵



静岡空港を離陸する日航機とF4U機

開港半年の静岡空港

四日で開港半年を迎える静岡空港（静岡県島田市、牧之原市）が揺れている。立ち木騒動で開港が遅れ、利用者数も伸び悩む中、経営再建中の日本航空が全面撤退の方針を打ち出したからだ。国が地方空港新設を凍結する前に海り込みで事業認可され「最後の地方空港」とも呼ばれる静岡空港。生き残り戦略は他の地方空港にとって模範となる。（静岡総局・広瀬和実）

■試験
岡、札幌（新千歳）線いこの判断に至った。二〇一〇年度 日航の通告文書が、静岡県に届けられた。

日航撤退 “松本救済”で注目

は十月末。空港の主要収入源となる着陸料収入の43%を占める日航の撤退は、空港を運営する県にとって死活間、図らねばならない。撤

静岡県が設置・管理する地方

管理空港。1998年竣工。反対運動などで用地取得・建設が難航し、滑走路西側に航空法の高さ制限を超える立ち木が見つかるなど開港予定は3度延期され、ようやく今年6月4日オープン。総事業費は国費を含め約1900億円。維持・管理業務の一部はF4Uの親会社で総合物流会社の鈴木、ススキ、ヤマハなど地元14社が出資する運営会社に委託。路線は札幌、福岡、沖縄、小松、熊本、鹿児島、ソウル（仁川）、上海。

退は検討を重ねた結果「とすげない」。

■模索

全路線で唯一、一日三往復する福岡線について、県は年間搭乗率70%を下回った場合、支援金を支払う「搭乗率保証」を導入している。静岡、福岡両県に率保証する自動車関連産業の「ビジネス客を見込み、同路線を」空港の「目玉」と考えるから」とその優遇策だ。

核心

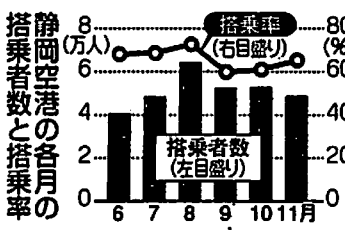
姿勢も強まっている。地元企業が運営する「フジドリームエアラインズ」（F4U、静岡県牧之原市）は静岡空港を拠点に国内三路線を展開。さらに十一月初旬、日航撤退後の静岡―福岡線を引き継ぐ計画を発表した。その動きは他空港にも波及。摩港の危機にある松本市（長野県松本市）の日航二路線の継承を検討すると表明し、「地方空港の救世主」として注目を集

「羽田に頼らず、直轄、地方をつなぐ路線」として備蓄がある」と強気に語ってきた川勝平太知事は、日航撤退騒ぎが大きくなってから、いっそう、脱東平社長は「地域間航空を新しいビジネスモデルとして成功させた」と意気込みだ。

石川や福岡、さらには中国など就航先を立て続けに訪問し、トップセールスを展開。「地域の連携と交流拡大が大切」と繰り返し訴えている。

■戦略

新規航空会社頼みの脱出策とみている。





11月29日、台湾北部の基隆で、選挙集会に参加した馬英九總統（左から2人目）＝AP

台湾統一地方選

野党が攻勢維持

あす投票 与党国民党は苦戦

【台北＝栗田秀之】台湾の十七県市で首長や地方議員などを決める統一地方選が五日、投票される。対中国融和政策を進める馬英九政権の信任投票となり、陳水扁前總統の汚職事件で信頼が失墜した野党民進党が攻勢を回復できるかも焦点。二〇二二年の次期總統選の試金石としても注目される。

首長の現有勢力は与国民党が十四県市、民花連順など複数の県市で分裂選挙となっており、公認候補が現有議席を維持するのは極めて困難な情勢。勝敗の目安は民進党が議席を上積みできるかどうかだ。

国民党の主席も兼ねる馬總統は、前回四年前の統一選を含めて總統選、立法委員（国会議員）選などで常に圧勝してきた。

しかし、今回は八月の台風災害での不手際などで人気に陰りも見え、苦戦を強いられる。

一方、民進党は、急速な対中接近に警鐘を鳴らすほか、低迷する経済情勢も踏まえて馬政権を批判し、攻勢ムードを維持。とりわけ、二十四年間県長（知事）を独占しながら、前回失った宜蘭県での奪回に全力を挙げている。

国民党の李建栄主任委員は「重要なのは人口の多い県での勝利と得票率」と話す。民進党の蔡其昌中央評議委員（会委員）は「四ポストを取る自信はある」と上積みを手応えを示している。

【上海＝小坂井文彦】「中国共産党の腐敗は致命傷に近い」

重慶市トップで、共産党政治局委員の薄熙来・同市党委書記が市幹部の会議で、こんな異例の党批判を行っていた

中国・重慶市トップ

ことが分かった。三日付の中国紙・重慶晨報などが報じた。党幹部の一人の発言だけに、波紋を広げそうだ。薄氏は六月以降、暴力団の

幹部会議で異例の批判

取り締まりを強化し、癒着していた胡錦濤國家主席につながる公安幹部らも摘発。党中央は、軟着陸を求めたが、先月末には市長を事実上、更迭した。

同会議で、薄氏は「黨員は墮落という慢性病にかかっている。このままでは生命にかかわる」と警告。発言には、中央の圧力に抵抗するため、自身の行動の正当性を市民にアピールする狙いがあるようだ。

「党の腐敗致命傷に近い」

ている。

テロ組織へ先制攻撃も

ロシア首相 反政権勢力をけん制

【モスクワ】酒井和人
ロシアのプーチン首相が三日、ロシア北西部で起きた「ネフスキー急行」の爆弾テロ事件に関連し「テロを未然に防ぐため、非常に厳しい対策が必要だ」と明言した。恒例

首相と関係の深いチエチエン共和国のカティロフ大統領は生中継での発言直後、「完全に同意する。テロ発生前に(テロ組織を)攻撃すべきだ」と語った。国民対話はプーチン首相が大統領時代から続けており、以前から質問者や質問内容が事前に決まっているとの

「やらせ疑惑」が指摘されてきた。今回、首相への質問は百六十万件以上と公表され、「強いリーダー」としての国民的な人気をあらためて印象付けた。

首相はまた、二〇一二年の次期大統領選への立候補を検討するとあらためて明言した。

メドベージェフ大統領には同様の機会はなく、この日は外国訪問のため、昨年に続き不在だった。



3日、モスクワで、国民対話のテレビ中継で流れるプーチン首相の映像=AFP・時事